

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
学校教育目標・教育方針 ①	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を作成するに当たり、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>35%</td></tr> <tr><td>②</td><td>65%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	35%	②	65%	③	0%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>肯定的な評価（①そう思う＋②だいたいそう思う）が教職員100%・保護者91%・地域100%（無回答含まず）となっている。この項目については、概ね良好であると考えられる。しかし、教職員の中には①が35%であるのは、保護者のニーズが明確に捉え切れていないためだという課題もあがっている。</p>
	評価項目	割合														
	①	35%														
	②	65%														
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															
生徒			<p>課題解決への方策</p> <p>情報の発信源が配布物の場合、生徒から保護者へ届かない可能性もある。C4th等のメールを活用するのも良いが、件数が多くなると既読が少なくなることも考えられる。そこで、学校のホームページに日常的な情報を載せて閲覧者を増やし、有効な発信源としてコミュニケーションの場にしていく。そこで学校運営協議会を通じて保護者のニーズを汲み取る方策を考えていく。</p>													
保護者	学校は、保護者のニーズをとらえて学校教育目標や教育方針を設定している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>40%</td></tr> <tr><td>②</td><td>51%</td></tr> <tr><td>③</td><td>8%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	40%	②	51%	③	8%	④	0%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>コロナ禍による環境の変化や制限のある中で、社会全体そして鶴ヶ島でも少しずつ変わっていき。しかし、コロナ禍であっても保護者、地域の方の理解・協力がますます重要となる。 学校教育目標や教育方針を、生徒はもとより、折に触れ保護者・地域に広め、学校、保護者、地域で共通理解を図ることが必要である。「目指す学校像」「目指す生徒像」は具体的でわかりやすく、地域に反映し設定されている。 また、保護者の方の評価が、他に比べて低いようだが、教育目標や教育方針の設定は良いので、評価はもっと良くなるべきである。</p>	
評価項目	割合															
①	40%															
②	51%															
③	8%															
④	0%															
⑤	0%															
地域	学校は、地域の声を反映して学校教育目標や教育方針を設定している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>56%</td></tr> <tr><td>②</td><td>38%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>6%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	56%	②	38%	③	0%	④	0%	⑤	6%		
評価項目	割合															
①	56%															
②	38%															
③	0%															
④	0%															
⑤	6%															

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ②	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を、保護者や地域住民に広く周知している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>肯定的な評価は教職員94%・保護者95%となっており、生徒と地域の肯定的評価は90%を下回っている。このことは、コロナ禍が続く影響で、学校公開や行事の多くに制限がかかったことが要因の一つである。しかし、学校教育目標についてしっかりと知らない生徒が17%存在することは大きな課題である。</p>
	生徒	私は、学校教育目標を知っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>日々の指導の場面で学校教育目標を意識させ、学校教育目標に触れる機会を増やしていくことは大切である。また、朝会や集会等で校長先生の講話について生徒が振り返る時間を設定していく。生徒が行う学期の振り返りに学校教育目標の達成度についての項目を入れ、学校教育目標を常に意識させたい。</p>
	保護者	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>学校便りの回覧、ホームページの配信によって、学校生活や部活動情報・学校の歴史等が丁寧かつ詳細に周知され、地域の学校ということが徐々に浸透していると思われる。地域の方が、なかなか学校に行くことが難しいとき、家から学校の様子を確認できたらうれしいので、ホームページの更新をこまめにしていきたい。生徒については学年毎に認知度が違うと考えられる。コロナ禍で地域の方々との交流が難しいのでどのように伝達すればいいのか再度検討の必要がある。</p>
	地域	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導 ③	教職員	教職員は、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<p>①39% ②61%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>肯定的な評価は教職員100%、生徒95%であり、教員がわかりやすい授業を行うために努力を続けていることがわかる。特に生徒は56%が①そう思うと答えており、わかりやすく工夫された授業が実践されている。しかし、授業は試行錯誤して答えを見つける展開が多いため、すぐに答えを知りたがる生徒にとっては「わかりにくい授業」となり、否定的な評価は5%となったと考察できる。</p>
	生徒	先生方は、わかりやすく工夫した授業をしている。	<p>①56% ②39% ③5%</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>教え合いや学び合いの授業であっても、一方的な答えの伝え合いでは学力向上には繋がらないことがある。自力で考える時間の確保を大切にする必要がある。また、道徳の授業を工夫してより多くの生徒が主体的に参加できるように努め、①そう思うと回答する生徒をより増やしていく。 また、基礎学力が身につけていない生徒が自力で考える授業を展開することに尽力する。</p>
	保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>コロナ禍で制限の多い中、先生方は、熱意と労力を惜しまず授業の準備をし、工夫した授業に取り組まれている。多忙で大変な中、わかりやすい授業を展開している。 授業参観で見ると、生徒たちは落ち着いており、教員の一方的な学習ではなく生徒たちに考えさせながら進める授業展開となっている。先生と生徒、生徒同士も良好な人間関係が作れている。 また、ICT教育で授業内容も変化し、より深い知識・視野を得て学んでいる。もう一度、授業を受け直したいとさえ思えるのは、パソコンや映像等を利用してわかりやすく授業を行っていることや、去年より学び合い学習が充実しているからだと考察する。</p>
	地域			

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導 ④	教職員	生徒は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員、生徒、保護者ともに、昨年度よりも肯定評価の割合は高く、①そう思うに関してはそれぞれ10ポイント程度あがっている。 しかし、人の話を集中して聞けない生徒が多いことは課題である。生徒にとっての話をよく聞くとは「姿勢が良い」といった形式的なものであり、大人の求める「内容をしっかりと理解する」ということではない。</p>
	生徒	私は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>話を聞くことが難しい特性を持った生徒に対しては個別に指導したり、周囲の子と合わせて動くように指示すると良い。また、タブレットを活用して指示を目の前に出すのも有効と考える。 聞いた内容をきちんと取込み理解する訓練を日常的に行っていく。朝読書の別バージョンとして訓練を取り入れたり、昼の放送も活用して聞く力を伸ばしていく。</p>
	保護者	生徒は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>学校全体が落ち着いた雰囲気の中で意欲的に学習に取り組んでいる。仲間と共に学び合う授業は楽しく意欲的になれるようである。これは、工夫・研究された授業によるものだと考察できる。今後もアクティブラーニングやプログラミング教育等に取り組んでいただきたい。 全体的に評価が上がっているのは、授業参観を多少でも実施したことで保護者も授業の様子を見ることができたからだと考える。教室内はもちろん廊下の作品の展示なども工夫されていていつもきれいに整っていた。 しかし、学力向上を図るには家庭学習の習慣化が不可欠なことである。</p>
	地域	生徒は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察									
生徒指導・規律ある態度 ⑤	教職員	教職員は、生徒の問題行動等に対して、組織的に、毅然とした態度で対応している。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>59%</td></tr> <tr><td>②</td><td>38%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>3%</td></tr> </table>	項目	割合	①	59%	②	38%	⑤	3%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員の評価は①そう思うが昨年度よりも16ポイント上昇している。また、生徒・保護者の評価は95%以上が肯定的なものであり、教職員の対応に概ね満足している様子が見て取れる。教職員の献身的な取り組みが結果に表れていると考える。課題は、共通理解をさらに深め、全ての生徒・保護者から教員の対応が信頼を得ることである。</p>	
	項目	割合											
	①	59%											
	②	38%											
⑤	3%												
生徒	先生方は、いじめやトラブルなどの問題に対して、きちんと指導してくれる。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>59%</td></tr> <tr><td>②</td><td>37%</td></tr> <tr><td>③</td><td>3%</td></tr> <tr><td>④</td><td>1%</td></tr> </table>	項目	割合	①	59%	②	37%	③	3%	④	1%	<p>課題解決への方策</p> <p>生徒指導において、職員の共通理解の小さなブレは生徒・保護者の不信感につながるため、生徒の学校生活のきまり等は、生徒指導部で検討した後、職員会議で協議し職員の共通理解をさらに徹底する。また、生徒指導においても教育相談は重要なポイントとなるため生徒指導部会・教育相談部会のさらなる協力体制を築いていく。</p>
項目	割合												
①	59%												
②	37%												
③	3%												
④	1%												
保護者	教職員は、生徒が学校の決まりや集団生活・社会生活でのルールやマナーなどが守れるよう指導している。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>46%</td></tr> <tr><td>②</td><td>49%</td></tr> <tr><td>③</td><td>5%</td></tr> </table>	項目	割合	①	46%	②	49%	③	5%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>教職員共通の「生徒理解」を基本に据えた指導によりいじめ、暴力等に対する組織的な対応、また未然に防止する取り組み等、指導の効果が定着しつつあると思われる。鶴中の生徒指導は個々に寄り添い、良くなされているため、学校の信頼が徐々に高まっている。</p> <p>学校での生活態度、登下校の様子などを見るに大変良く、問題など感じられない。これは学校の指導によるもので、生徒は学校のきまりや、社会集団の生活を理解して成長している。</p> <p>コロナ禍のこの状況が長く続くほど、想定外のことが起きてくる。落ち着いて見えても心の中まではわからないこともあるため、生徒数%の少数意見、小さなサインや気づきを見逃さず情報共有し、地域でも見守っていききたい。</p> <p>そして、生徒のいじめ・トラブルに対しての部分が0%になることを目指して取り組んでいただきたい。</p>		
項目	割合												
①	46%												
②	49%												
③	5%												
地域													

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑥	教職員	生徒は、学校の決まりを守り、学校生活を送っている。	<p>①17% ②76% ③7%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員の肯定的評価が83% (R2)→93% (R3)と10ポイント上昇している。生徒は確実に落ち着いた学校生活を送り、成長していると考えられる。生徒・保護者の肯定的評価は97%、地域は無回答を除けば100%となっている。高い評価であるが、今後は自主的に決まりを守っていく生徒を育てていきたい。</p>
	生徒	私は学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>①63% ②34% ③3%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>学校生活における決まりやルールの意義や意味について、様々な機会をとらえて考えさせ、主体的に決まりを守る態度を育成していく。生徒会や委員会活動、また特別活動や道徳の時間等でも取り組んでいく。自主的な活動をするためには生徒に時間的な余裕が必要である。じっくり計画をして成功体験だけでなく失敗体験もあわせて成長させていきたい。</p>
	保護者	生徒は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>①42% ②55% ③3%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>全体的に素直で明るい生徒が多く中学生らしいという印象がある。学校が楽しいと思う生徒が多いということと、あわせて心の強さ、生きるたくましさや育まれることを期待する。 2, 3年前から、外で会うと、通りがかりにあいさつをしてくれる生徒もいて、素直で思いやりのある生徒が多いと地域の人も誉めてくれる。しかし、まだきまりを守れない生徒もいるようで、基本的なマナーや社会性を身につける上で道徳の授業の大切さを感じる。道徳心は守れるように、生徒が自主的にきまりを守れるように働きかけをしてほしい。 学校でのこと、家庭でのこと、見えてこないこともあるが、小さな違いも見逃さないようにして頑張っていたいただきたい。</p>
	地域	生徒は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>①50% ②44% ⑤6%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑦	教職員	生徒は校内ですすんであいさつをしている。	<p>①14% ②55% ③31%</p> <p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員、生徒、保護者の評価は昨年度と同じ傾向にあるが、教職員と生徒の①そう思うの評価は10ポイント程度上がっている。また、地域の評価は今年度100%の肯定評価となった。これは、生徒が主体となったあいさつ運動や教職員の取り組みの成果である。しかし生徒と教職員の捉え方には大きな差が生まれている。</p>
	生徒	私は、すすんであいさつをしている。	<p>①54% ②37% ③9%</p> <p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>今年度は生徒間のあいさつが少なかったため、今後は、先輩から後輩にあいさつをする雰囲気作りから始めて行く。また、関わりのある人に挨拶をする習慣をつける必要がある。大人がお手本になるよう、教員が進んで行うことはもちろん、学校だより等で家庭への協力を呼びかけていく。 授業開始・終了のあいさつを小中連携で行い、9年間を通してあいさつの統一を図る。</p>
	保護者	生徒は、家族や近所の人にすすんであいさつをしている。	<p>①28% ②49% ③23%</p> <p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>先生方の立哨指導や生徒によるあいさつ運動等、様々な場面での日常的な指導により学校内でのあいさつは積極的にできている。登下校時はまだ十分とはいえないが、ためらいながらも、ごく身近な地域でのあいさつは概ねできているようだ。 学校のみならず家庭でのあいさつは大切であり、私たち大人がもっと積極的にならなければならない。生徒自身が自主的にできるように、先生、地域、保護者も手本となる行動が必要である。 新たな取り組みとして、一日に何回「ありがとう」と思ったり言ったりしているのか、「ありがとう増進運動」など行ってみてはどうか。</p>
	地域	生徒は、地域の人にすすんであいさつをしている。	<p>①33% ②67%</p> <p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
全 ⑧	教職員	学校は、登下校時の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員の肯定的評価は、昨年度より10ポイント上がり、97%であった。生徒・保護者の評価は昨年度とほぼ変わらなかったが、地域の肯定的評価は、76%に留まった。今後さらに、教職員がお互いに声を掛け合って、安全な登下校指導、不審者対応に取り組んで行く必要がある。</p>
	生徒	安全に、安心して登下校できる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>安全指導は、不審者対応も踏まえてさらに充実させていかなければならない。交通安全教室も実施し、立哨指導など行っていきたい。しかしながら登下校における安全面の確保は、教職員としては限界があり、ボランティアとして定期的に保護者・地域に協力を仰ぎ、登下校を見守る取り組みができればと考えている。</p>
	保護者	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>75周年記念の生徒の下校時は日没後でとても心配でしたが信号のところで先生が交通整理をしてくださり生徒の安全確保に尽力いただいた。このことは、ホームページや掲示・学校だよりの地域回覧等で現状も把握でき、開かれた学校であると思う。 今後も、安心・安全面においては、何よりもきめ細かい対策が必要だと思う。学校での交通安全指導の充実、自転車の乗り方についても小中学校両方に充実させていただきたい。また、危険な場所の確認は定期的に行った方が良い。 今現在、通学路の整備が遅れているようであり、そのことにより、生徒以外の評価が低いのだと考察する。</p>
	地域	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
保護者・地域との連携 ⑨	教職員	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>50%</td></tr> <tr><td>②</td><td>50%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	項目	割合	①	50%	②	50%	③	0%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員は肯定的な評価が、昨年度より5ポイント増え100%となった。保護者の肯定評価は90%を越え、①そう思うの割合は10ポイントあがっている。地域は無回答が増えているが否定的評価は0%にであった。コロナ禍で保護者への伝達手段に力を注いだ結果、広く情報発信ができていたと考えられる。今後も継続していく。</p>
	項目	割合														
	①	50%														
	②	50%														
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															
生徒			<p>課題解決への方策</p> <p>学校はネットを通じて、情報の発信を充実させてきた。今後は、家庭内で学級通信や学年だよりの行き来が漏れなくできるように、学校としてさらに手立てを講じていく。 しかし情報量が溢れすぎると逆に大切なことが伝わりづらくなる可能性がある。学校はもっと情報を精査し、保護者・地域にとって有益な情報発信に努めなければならない。</p>													
保護者	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>53%</td></tr> <tr><td>②</td><td>39%</td></tr> <tr><td>③</td><td>7%</td></tr> <tr><td>④</td><td>1%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	項目	割合	①	53%	②	39%	③	7%	④	1%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>ホームページや掲示、学校便りの回覧などで現状も把握でき開かれた学校だと思う。学校を取り巻く地域の人々へ情報発信した効果が地域の評価につながっている。今後も、学校便りの回覧、ホームページの充実、学校公開などは是非続けていきたい。 コロナ禍で様々なことが制限され、行事等が中止となってしまったが、生徒を中心として、教職員、保護者、地域の人々が交流できる機会をできる限り作っていただくことを希望する。</p>	
項目	割合															
①	53%															
②	39%															
③	7%															
④	1%															
⑤	0%															
地域	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>56%</td></tr> <tr><td>②</td><td>38%</td></tr> <tr><td>③</td><td>6%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	項目	割合	①	56%	②	38%	③	6%	④	0%	⑤	0%		
項目	割合															
①	56%															
②	38%															
③	6%															
④	0%															
⑤	0%															

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
保護者・地域との連携 ⑩	教職員	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>37%</td></tr> <tr><td>②</td><td>63%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	37%	②	63%	③	0%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員の肯定的評価は100%であり、昨年に比べ25ポイントと大きく上昇した。保護者は85%で変化はなかった。地域についてはコロナ禍で行事等の制約があったためか、無回答が12%となった。しかし、日光街道清掃やPTAの植栽、学校ファーム等、学校応援団からの協力は充実したものになっている。また、75周年の式典はPTA主催で開催され大成功となった。今後も、活動を地域に広く周知し、継続していくことが大切である。</p>
	評価項目	割合														
	①	37%														
	②	63%														
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															
生徒			<p>課題解決への方策</p> <p>今年度も、コロナ禍のため多くの制約がある中、地域清掃やボランティア活動について、生徒の地域貢献や地域の人材の活用ができたこと考証できる。また、PTA活動が大幅に制限されても、PTAの主体的な取り組みにより教育活動が充実している。今後も、保護者・地域に助けられながら、地域貢献・地域協力を推進していく。</p>													
保護者	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>32%</td></tr> <tr><td>②</td><td>53%</td></tr> <tr><td>③</td><td>13%</td></tr> <tr><td>④</td><td>1%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>1%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	32%	②	53%	③	13%	④	1%	⑤	1%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>コロナ禍により、地域の一員として生徒が活動に参加する機会が少なく残念だったが、生徒が自主的に参加する日光街道清掃、花植え等、自らボランティア活動や地域貢献の活動に参加し立派だった。今後も学校応援団や学校運営協議会のニーズに合ったさらなる人材適用が必要となるはずである。日光街道清掃、花植え等は継続していただきたい。</p> <p>コロナ禍では難しいはずだが、福祉教育、ボランティア活動を生徒たちは楽しそうに取り組んでいた。</p> <p>学校応援団（環境整備）の者として、保護者、地域の評価に関しては頭の痛いところだが、評価を素直に受け入れ、今後もボランティア活動に積極的に取り組もうと思っている。</p> <p>元公務員の方が子供たちの安全に協力されている。</p>	
評価項目	割合															
①	32%															
②	53%															
③	13%															
④	1%															
⑤	1%															
地域	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>25%</td></tr> <tr><td>②</td><td>50%</td></tr> <tr><td>③</td><td>13%</td></tr> <tr><td>④</td><td>12%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	25%	②	50%	③	13%	④	12%	⑤	0%		
評価項目	割合															
①	25%															
②	50%															
③	13%															
④	12%															
⑤	0%															

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校環境 ⑪	教職員	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	<p>①33% ②67%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員の肯定的評価は昨年度75%から100%となった。生徒・保護者の評価は約95%が肯定的であり、5ポイント上昇している。地域も100%肯定的な評価である。先生方の工夫と組織的な取り組みで、率先して清掃活動に取り組む生徒が増えている。しかし、校舎の老朽化は手の打ちようが無い状態である。</p>
	生徒	私は学校をきれいにしようと心がけ、清掃をしている。	<p>①57% ②39% ③3% ⑤1%</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>今年度、環境美化や掲示についての工夫や指導の充実を進められてきた。また、地域と協力して行った清掃活動やボランティア活動によって、生徒が自ら進んで行う自主性が育成されていると考える。今後も、地域清掃、登下校道路沿いのゴミ掃除、校内美化の取り組みを生徒主体の活動として進めていきたい。</p>
	保護者	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>①46% ②50% ③3% ⑤1%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>老朽化が感じられる校舎ではありますが清掃活動に先生も生徒も積極的に取り組んでいただき、隅々清掃、気づき清掃の心がけで環境美化は良好である。 校内掲示も生徒の作品展示をはじめとして季節や行事に合わせ心の教育に通じる環境作りが行き届いている。また、各教室の掲示板、廊下の掲示、いつもきれいに整っている。教室内は先生方の工夫が素敵で楽しませてくれる。もちろん校庭の花壇学校周りもきれいに整えられている。元公務員の方が校庭周囲の清掃・美化に協力してくださっているようである。 しかし施設の老朽化が問題であり、廊下、床、天井など劣化が激しいところは行政に図り改修をしていただきたい。</p>
	地域	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>①75% ②25%</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
働き方改革⑫	教職員	⑫学校は、働き方改革を進め、教科指導や教育相談等、直接児童に係る時間が増えるよう努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>1学年では、道徳授業の単元を学年職員で割り振ることで、負担の軽減に繋がった。しかしながら道徳は、担任がクラスの実態を把握して発問の仕方などを変える必要がある。 ICTが進み一見効率が進んだように見えるが、時間的制約が無くなったためか、研修や調査が増え報告書の量も膨大になった気がする。</p>
	生徒		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>学校は積極的に働き方改革に取り組んでいる。しかし、問題は別のところにあるのではないか。勤務時間外の電話に、留守番電話の導入はできないだろうか。 パソコンをWi-Fi仕様にするとはできないだろうか。職員室以外で仕事のできたのであればICTによる効率化は格段に進むと考えられる。</p>
	保護者		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>学校では未来を担う生徒一人一人がたくましく未来を生き抜く力を身につけるため、先生には授業最優先で先生にしかできない教育に全力で取り組んでもらいたい。社会が大きく変わる今、地域の人々、PTAの方々が生徒たちのためにできることは何か。これから考えを出し合い協力していかなければならない。 働き方改革において、学校の取り組みも大切だが、保護者対応や部活動、長時間労働など先生方の負担を減らせるような制度や仕組みを変えることが必要だと思う。 教職員の評価は否定的な意見が多い。学校の問題というより、働き方改革が現場の先生の意見を反映していないことが問題なのではないか。</p>
	地域		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	